

## (5) 講演

### ア. 口頭発表

- Masayasu Mimura, “Modeling of self-organized aggregation: from individual to population”, Conference on Evolutional equations, related topics and applications, 早稲田大学, 東京, 2012年3月19日
- Masayasu Mimura, “Turing's instability versus cross-diffusion-driven instability”, Pattern formation: The Inspiration of Alan Turing, Oxford, United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland, 2012年3月14日
- 三村昌泰, “自己組織化集合モデルについて：マイクロとマクロの間を探る”, 数電機特別連携講演会, 首都大学東京, 東京, 2012年3月7日
- Masayasu Mimura, “Mathematics moving towards understanding of self-organization”, Mathematics for Innovation: large and Complex Systems, ESF-JSPS, 東京, 2012年2月29日
- Masayasu Mimura, “A link between macroscopic and microscopic models of active aggregation”, 20th Annual Workshop on Differential Equation, Taipei, Taiwan, 2012年1月6日
- Masayasu Mimura, “Active aggregation in two mode-dispersing models”, International workshop on Mathematical Models of Biological Phenomena and their Analysis, 仙台, 2011年11月23日
- Masayasu Mimura, “Infinite dimensional relaxation oscillation in a population growth model with two mode movement”, Workshop on Reaction-Diffusion Systems in Mathematics and Life Sciences, Montpellier, France, 2011年9月20日
- Masayasu Mimura, “Competitor-mediated coexistence”, Mathematical Frontiers in the life Sciences, Limerick, Ireland, 2011年7月5日
- Masayasu Mimura, “Competitive exclusion and competitor-mediated coexistence”, Fronts and Nonlinear PDEs, Ecole Normale Superier, Paris, France, 2011年6月21日
- Masayasu Mimura, “Infinite dimensional relaxation oscillation in a chemotaxis-growth system”, Colloquium du Laboratoire Jacques-Luis Lions, Univ. Pars VI, Paris, France, 2011年6月17日
- Masayasu Mimura, “Dynamics of soliton-like dynamics in excitable reaction-diffusion systems”, International Conference on Perspective in Mathematics and Life Sciences, Granada, Spain, 2011年6月8日
- 生熊克己, 向殿政男, “道路交通の死亡事故低減に関する考察”, 第10回ITSシンポジウム1, pp.115-120, ITS Japan, 2011年11月4日
- 向殿政男, “労働安全衛生マネジメントシステムに生かすリスクベースアプローチの考え方”, 100周年記念講演 リスクアセスメント/マネジメントシステム分科会, 平成23年度全国産業安全衛生大会研究発表集, pp.58-60, 中央労働災害防止協会, 2011年10月14日

- 向殿政男，“安全学の立場から安全目標とリスク基準について考える”，特別講演，化学生物総合管理学会学術総会予稿集，pp.63-82,学術総合センター，2011年9月30日
- 向殿政男，“信頼性・安全性の将来展望”，第1回フォーラム，日本信頼性学会，2011年9月12日
- 向殿政男，“安全学の視点から原子力安全を観る”，第16回知能メカトロニクスワークショップ，高知工科大，2011年9月2日
- 向殿政男，“安全学の体系化について～安全曼荼羅をベースに考える～”，日本安全学教育研究会誌，Vol.4, pp.47-53, 日本安全学教育研究会, 2011年8月9日
- 向殿政男，“安全目標～どこまでやったら安全か～について考える”，日本安全学教育研究会誌，Vol.4, pp.95-100, 日本安全学教育研究会, 2011年8月9日
- 生熊克己，向殿政男，“事故データからみる道路交通の安全度水準についての考察”，技術研究報告 安全性 SSS2011-8, pp.17-20, 電子情報通信学会, 2011年7月21日
- 生熊克己，向殿政男，“道路交通のエラー水準と交通事故の過剰リスク”，信頼性保全性シンポジウム，日本科学技術連盟，2011年7月15日
- 生熊克己，向殿政男，“ヒューマンエラーと道路交通の事故低減”，安全工学シンポジウム2011 講演論文集，pp.461-464, 日本学術会議総合工学委員会, 2011年7月8日
- 向殿政男，“安全の理念と安全目標”，安全工学シンポジウム2011 講演予稿集，pp.11-13, 日本学術会議総合工学委員会, 2011年7月7日
- 生熊克己，向殿政男，“道路交通の安全性水準”，春季信頼性シンポジウム，日本信頼性学会，2011年6月3日
- 向殿政男，“安全学という新しい視点から身近な事故を解剖する”，知の広場：科学と社会事例研究2，早稲田大学，2011年9月27日
- 向殿政男，“安全は競争力～経営者にとっての機械安全～”，安全講話，旭進会，2011年9月8日
- 向殿政男，他，“ディスカッション：放射能のリスクについて，消費者が知っておきたいこと”，シンポジウム：食品と放射能について，知りたいこと，伝えたいこと，消費者庁，神奈川会場：かながわ労働プラザ，埼玉会場：大宮ソニックシティ，2011年8月28日，29日
- 向殿政男，“製品安全における世界の動向と日本メーカーが取り組むべき姿”，緊急セミナー：迫りくる法改正，変わる安全設計，日経ものづくり，日本科学技術連盟，東京会場日科技連本部，大阪会場大阪中央電気倶楽部，2011年7月25日-27日
- 向殿政男，“ためになる「安全学」～暮らし，住まいのあんぜんについて～”，BL, ALIA 研究成果合同発表会講演，(財)ベターリビング，(社)リビングアメニティ協会，2011年7月14日
- 向殿政男，“安全目標について考える ～福島第一原発事故を鑑みて～”，臨時PS講演会，日立ハイテク（株），2011年7月12日
- 向殿政男，“原発と放射線の安全性を考える ～安全学の視点から～”，特別講義，明治大学情報コミュニケーション研究科，2011年6月13日
- 向殿政男，“震災における安全について～大震災における労働安全衛生の在り方～”，全国セイフティネットワーク集会，連合，ホテルグランドパレス，2011年5月23日
- 向殿政男，“福島原発事故から安全を考える～安全学に視点から～”，支部講演会，明治大学校友会東京都東部支部，2011年5月21日

- 向殿政男，“明治大学と校友会と私”，異世代交流会，明治大学学生校友会，2011年5月20日
- 向殿政男，“安全目標について考える，～どこまでやったら安全か？～”，第219回月例会特別記念講演，安全技術応用研究会，2011年4月26日
- 向殿政男，“信頼性・安全性の将来展望”，第2回フォーラム，日本信頼性学会，高知市文化プラザかるぼーと，2012年2月3日
- 谷口稔和，梅崎重夫，向殿政男，“安全分野で使用する情報の特性と災害情報データベースの構築”，IEICE Technical Report Vol.111 No.371，pp.25-28，電子情報通信学会，2011年12月22日
- 向殿政男，“‘機械システム安全’について”，昇降機システムの安全・安心問題研究会，日本機械学会，2011年10月28日
- 生熊克己，向殿政男，“事故データからみる道路の安全度水準についての考察”，IEICE Technical Report, Vol.111, No.143, pp.17-20，電子情報通信学会，2011年7月14日
- 向殿政男，“「ゼロリスクはない」とするならば，どうやって安全・安心を説くか？”，パネルディスカッション，品質と安全文化フォーラム，明治大学紫紺館，2012年3月29日
- 向殿政男，“品質リスクマネジメントの考え方，進め方”，品質講演会，(株)カネカ高砂工業所，2012年3月23日
- 向殿政男，北野大，“夢と未来をつなぐ講演会”，卒業フェスティバル特別企画，明治大学校友会，明治大学リバティタワー，2012年3月20日
- 向殿政男，“コンピュータ安全と機能安全”，「組み込みソフトの安全性について」講演会，製品評価技術研究機構，有楽町電気ビル北館，2012年3月13日
- 向殿政男，“機械安全と製造拠点の海外展開に関するシンポジウム”，パネルディスカッション：モデレータ，日本機械工業連合会，東京証券会館，2012年3月5日
- 向殿政男，“耐用寿命に対する技術的対応について”，特別講演 実践！信頼性・品質技術研究会，日本科学技術連盟，東高円寺ビル，2012年3月2日
- 向殿政男，“労働安全衛生マネジメントシステムに生かすリスクベースアプローチの考え方”，安全管理者研修会，福島県労働基準協会，飯坂ホテル聚楽，2012年2月9日
- 向殿政男，“安全の‘そもそも’とわが国の安全文化・安全意識 ～いま迫られる安全文化・安全意識の見直し～”，NIKKEI 安全づくりプロジェクト，日本経済新聞社，日経ホール，2012年1月27日
- 向殿政男，“原子力発電の安全性に関する一考察”，特別講演，安全応用技術研究会，きゅりあん，2012年1月20日
- 向殿政男，“耐用寿命について”，第1回耐用寿命研究会，日本能率協会，三田NKビル，2011年12月15日
- 向殿政男，“原子力発電の安全設計について”，公開シンポジウム，福島第一原子力発電事故後の電気エネルギーの円滑な供給に向けて，日本工学アカデミー，学士会館，2011年12月13日
- 向殿政男，“安全設計の思想”，明治大学イブニングセミナー「将来に求められる原子力の安全とエネルギーを考えるシンポジウム」，明治大学理工学研究科新領域創造専攻，明治大学リバティタワー，2011年12月3日
- 向殿政男，“新しい時代における安全・安心重視の企業経営と教育の産学連携”，地域産業活性化公開講座，明治大学天童市講座，天童ホテル，2011年12月1日

- 向殿政男，“リスクが極めて高いシステムに対する安全設計思想について ～原子力発電に対する一考察～”，第 234 回総合安全談話会，総合安全工学研究所，2011 年 11 月 22 日
- 向殿政男，“労働安全衛生マネジメントシステムに生かすリスクベースアプローチの考え方”，審査委員会講演会，日本能率協会，2011 年 11 月 21 日
- 向殿政男，“消費者とリスクコミュニケーション”，ファシリテータ研修会，日本消費者生活アドバイザー・コンサルタント協会，全国クリーニング会館，2011 年 11 月 18 日
- 向殿政男，“経年劣化を防ぐ安全設計”，製品安全対策シンポジウム，日本能率協会，東京ビッグサイト，2011 年 11 月 17 日
- 向殿政男，“次世代の品質経営の基本は信頼+安全・安心”，第 52 回品質月間特別講演会（松江会場），日本規格協会，くにびきメッセ，2011 年 11 月 15 日
- 向殿政男，“安全文化を育てよう～安全な社会への貢献～”，UL University 安全文化セミナー，品質と安全文化フォーラム，明治大学リバティタワー，2011 年 11 月 9 日
- 向殿政男，“安全哲学について”，製品安全セミナー＜第 1 回＞製品安全の礎，日本規格協会，日本自動車会館，2011 年 11 月 7 日
- 向殿政男，“東日本大震災と明大校友会”，シンポジウム，明治大学校友会豊島区地域支部，上池袋コミュニティセンター，2011 年 11 月 5 日
- 向殿政男，“原発と放射線の安全性を考える～安全学の視点で～”，明治大学東京都西部地区父母会講演会，明治大学和泉校舎，2011 年 11 月 5 日
- 向殿政男，“コンピュータと教育”，第 4 回総会・研究大会，明治大学教育会，明治大学リバティタワー，2011 年 11 月 5 日
- 向殿政男，“日本の安全を根本から考える”，東日本大震災から何を学ぶか～安全・安心な日本を目指して～，明治大学創立 130 周年記念公開講座，明治大学&明治大学校友会北海道支部，京王プラザホテル札幌，2011 年 10 月 30 日
- 向殿政男，“身の回りの安全について～こんにやくゼリーから原発まで～”，明治大学 130 周年記念公開講演会，明治大学&明治大学校友会山梨県支部，山梨県立文学館講堂，2011 年 10 月 29 日
- 向殿政男，“震災とリスクマネジメント”，基調講演，計装制御技術会議，日本能率協会，三田 NN ホール，2011 年 10 月 26 日
- 蟹瀬誠一，渡邊美樹，齊藤隆，向殿政男，渡辺智恵子，“これからの日本を創る～東日本大震災から得たチカラ～”，創立 130 周年記念シンポジウム，第 14 回ホームカミングデー，明治大学，明治大学リバティタワー，2011 年 10 月 16 日
- 向殿政男，“安全確保の論理”，シリーズセミナー原子力の安全を問う，エネルギー総合工学研究所，JA 救済ビル，2011 年 10 月 8 日
- 向殿政男，“震災における安全について～大震災における労働安全衛生の在り方～”，連合全国セイフティネットワーク集会，日本労働組合総連合会，ホテルグランドパレス，2011 年 6 月 27 日
- 向殿政男，“今後の労働安全衛生対策の向かうべき方向～労働安全の側面から～”，連合全国セイフティネットワーク集会，日本労働組合総連合会，ホテルグランドパレス，2011 年 6 月 27 日
- Takeaki Kariya，“A CB (corporate bond) pricing model for deriving default probabilities and recovery rates”，International Conference on Quantitative Methods for Finance, Sidney, 2011 年 12 月 14 日-17 日

- Takeaki Kariya, “Empirically Effective Bond Pricing Model and Analysis on Term Structures of Implied Interest Rates in Financial Crisis”, International Conference on Advances in Probability and Statistics - Theory and Applications, Hong Kong, 2011 年 12 月 28 日-31 日
- 藤田創, 森啓之 “ハイブリッドコーディング EPSO を用いた Loadability 最大化のための FACTS 機器最適配置法”, 平成 23 年度電気学会 B 部門大会, 論文 I, 論文番号 21, 2011 年 8 月 31 日
- 角田広樹, 森啓之 “解の多様性を考慮した多目的メタヒューリスティクスによる確率的供給信頼度評価”, 平成 23 年電気学会 B 部門大会, 論文 I, 論文番号 22, 2011 年 8 月 31 日
- 高橋政人, 森啓之, “前処理を用いたニューラルネットワークによる太陽光発電予測”, 平成 23 年電気学会 B 部門大会, 論文 II, 論文番号 103, 2011 年 8 月 30 日
- 横山裕久, 森啓之, “データマイニングを用いた配電系統損失最小化”, 平成 23 年度電気学会電力・エネルギー部門大会, 論文番号 225, 2011 年 9 月 1 日
- 横山裕久, 森啓之, “データマイニングを用いた配電系統の損失最小化推定”, 電力技術研究会資料, 電気学会, PE-11-057/PSE-11-074, 2011 年 9 月 28 日
- 高橋政人, 森啓之, “DA 前処理付きの RBFN による太陽光発電予測”, 平成 23 年電気学会電力技術研究会資料, 資料番号 PE-11-089/PSE11-106, 2011 年 9 月 29 日
- Hiroyuki Mori, “Estimating Casual Relationship in Load Forecasting with Hybrid Intelligent System”, Invited Seminar at Yonsei University (延世大学), Seoul, Korea, 2011 年 4 月 29 日
- Hiroyuki Mori, “Multi-objective Meta-heuristics for ELD in Consideration of CO2 Reduction”, Smart Grid Special Session Seminar at KIEE (韓国電気学会), Cheju, Korea, 2011 年 5 月 20 日
- Hiroyuki Mori, “Recent Trend of Smart Grid in Japan”, Invited Seminar a Chun Yuan Christian University (中原大学), Chungli, Taiwan, 2011 年 12 月 29 日
- 横山裕久, 森啓之, “データマイニングとニューラルネットワークを用いた配電系統の損失推定”, 2011 年度第 1 回電気学会東京支部神奈川支所研究発表会, 2012 年 2 月 24 日
- 藤田創, 森啓之, “FACTS 機器最適配置のためのハイブリッドコーディング EPSO の開発”, 2011 年度第 1 回電気学会東京支部神奈川支所研究発表会, 2012 年 2 月 24 日
- 高橋政人, 森啓之, “GRBFN と PSO による太陽光発電出力予測”, 2011 年度第 1 回電気学会東京支部神奈川支所研究発表会, 2012 年 2 月 24 日
- 角田広樹, 森啓之, “スマートグリッド環境下におけるウインドファームを考慮した多目的送電系統拡充計画”, 2011 年度第 1 回電気学会東京支部神奈川支所研究発表会, 2012 年 2 月 24 日
- 高橋政人, 森啓之, “過学習防止を考慮した GRBFN による太陽光発電出力予測”, 平成 24 年電気学会全国大会予稿集, 論文番号 6-026, 広島工業大学, 2012 年 3 月 21 日
- 横山裕久樹, 森啓之, “ハイブリッドインテリジェントシステムを用いた配電損失推定”, 平成 24 年電気学会全国大会予稿集, 論文番号 6-033, 広島工業大学, 2012 年 3 月 23 日
- 角田広樹, 森啓之, “GRASP-SPEA2 による負荷の不確定性を考慮した多目的送電系統拡充計画”, 平成 24 年電気学会全国大会予稿集, 論文番号 6-044, 広島工業大学, 2012 年 3 月 23 日
- 藤田創, 森啓之, “ハイブリッドインテリジェントシステムを用いた天候デリバティブ契約モデルの作成”, 平成 24 年電気学会全国大会予稿集, 論文番号 6-056, 広島工業大学, 2012 年 3 月 23 日

- 森啓之, 大貫安彦, “非線形予測子を用いた電力ネットワークの連続型潮流計算”, 平成 24 年電子情報通信学会非線形研究会技術報告, 論文番号 N L P 2011-153, 福江文化会館, 2012 年 3 月 28 日
- Ryo Kobayashi, “Locomotion of Animals, Robots and Mathematics”, Seminar at Material Measurement Laboratory, NIST, Gaithersburg, USA, 2011 年 9 月
- Ryo Kobayashi, “Mathematical models of network formation of true slime mold”, Seminar at Dr. Merk's Lab. in CWI, Amsterdam, Netherland, 2011 年 9 月
- Ryo Kobayashi, T. Nakagaki and A. Ishiguro, “Design of Robot Control Learned from True Slime Mold”, Problem Solving by Slime Moulds, Uppsala, Sweden, 2011 年 9 月
- 小林亮, 中垣俊之, 石黒章夫, “生物ロコモーションに学ぶ大自由度制御システムの新展開”, 越境する数学, 東京, 2011 年 9 月 7 日
- 小林亮, “真正粘菌からロボットへ”, ワークショップ「生物ロコモーションと同期現象」, グリーンピア大沼, 2011 年 8 月
- M. Akiyama, A. Tero and Ryo Kobayashi, “A Mathematical Model of Cleavage”, ECMTB 2011, Krakow, Poland, 2011 年 6 月
- A. Tero, T. Nakagaki and Ryo Kobayashi, “Modeling of the Adaptive Network of True Slime Mold”, ECMTB 2011, Krakow, Poland, 2011 年 6 月
- T. Kazama, T. Okuno, K. Ito, T. Nakagaki and Ryo Kobayashi, “A mathematical model for the mode transition of locomotion in Amoeba proteus”, ECMTB 2011, Krakow, Poland, 2011 年 6 月
- 小林亮, “単細胞の底力”, 京都算楽会第 7 回研究会, 熱海市, 2011 年 6 月 5 日
- 小林亮, “粘菌の知性に学ぶ力”, 知識科学研究科セミナー, 北陸先端大学, 2011 年 5 月 23 日
- 小林亮, “生物と数学とロボットと”, 明治大学先端数理科学研究科開設記念シンポジウム, 明治大学, 2011 年 10 月 4 日
- 小林亮, “生物と数学とロボットと”, シンポジウム「創発と自己組織化－魅惑の非線形」, 九州大学, 2011 年 11 月 21 日
- 小林亮, “真正粘菌からロボットへ”, 東北地区特別講演会 ロボティクスと数理科学の素敵な出会い, 東北大学, 2011 年 11 月 25 日
- 小林亮, “粘菌の行動知に学ぶ”, 自然の叡智に学ぶ技術セミナー 第 2 回セミナー「生物に学ぶソーシャルイノベーション ～ 個と集団の素敵な関係～」, 大阪科学技術センター, 2011 年 11 月 28 日
- 小林亮, “生物と数学とロボットと – 粘菌の行動知に学ぶ –”, 数学系セミナー, 新潟大学, 2011 年 12 月 14 日
- 小林亮, “計算するアメーバの不思議”, 創立 130 周年記念シンポジウム「自然を探り, 社会を変える数理科学: 現象数理科学の挑戦」, 明治大学, 2011 年 12 月 17 日
- Ryo Kobayashi, “Locomotion of Animals, Robots and Mathematics”, GCOE シンポジウム「階層の連結」, Kyoto, 2012 年 2 月 13 日 -15 日
- 小林亮, “生物と数学とロボットと”, 数電機特別連携講演会, 首都大学東京, 2012 年 3 月 14 日
- 小林亮, “計算するアメーバの不思議”, エネルギー教育賞表彰式・記念講演会, 東京, 2012 年 3 月 16 日
- 小林亮, “フェーズフィールド法とその応用”, 日本解剖学会総会・全国学術集会, 山梨大

学, 2012年3月26日

- 梅田佑樹, 荒川薫, “方向性メディアンフィルタを用いた時空間画像修復とそのビデオスクラッチ除去へ応用”, 電子情報通信学会ソサイエティ大会, A-20-6, 2011年9月13日-16日
- 鷺見慎一郎, 老沼樹里, 荒川薫, 原島博, “インタラクティブ顔画像美観システムのパラメータ設定方法に関する一検討”, 電子情報通信学会ソサイエティ大会, AS-4-1, 2011年9月13日-16日
- 依田融, 井口幸洋, 荒川薫, “GPUを用いた $\varepsilon$ -フィルタバンク顔画像美肌化処理システムの動的実現法”, DSPTS 教育者会議予稿集, pp.41-42, 2011年9月2日
- 西川博貴, 依田融, 井口幸洋, 荒川薫, “ $\varepsilon$ -フィルタバンクを用いた顔画像美肌化処理システムのFPGAによる実現”, DSPTS 教育者会議予稿集, pp.43-44, 2011年9月2日
- Hiraku Nishimori, “Quantitative analysis of behavior of ants: Decision-making under conflicting information”, International Symposium on Complex Systems, Tokyo, 2011年12月2日
- 西森拓, “アリの集団採餌における判断と行動”, 第12回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 キーノート講演, 京都大学, 2011年12月23日
- 西森拓, “アリは群れて何を考えているのか?”, 第21回非線形反応と共同現象研究会, 広島大学, 2011年12月17日
- 西森拓, “砂丘のダイナミクス--マクロな自然現象の数理モデリングと計算機実験”, 一般社団法人 企業研究会 第24期「CAMMフォーラム」, 東京, 2011年6月3日
- Hiraku Nishimori and Hirofumi Niiya, “Morphodynamics of dunes described by the migration of crest-lines”, Minerva Gentner Symposium on Aeolian Processes, Ben-Gurion University of the Negev, Eilat Campus, Israel, 2011年10月25日
- 柴田達夫, “細胞の走化性シグナル伝達系の自己組織化による内在的極性形成と勾配認識”, シンポジウム‘細胞を構成する分子の情報ネットワーク’, 第49回日本生物物理学会年会, 兵庫県立大学, 姫路, 2011年9月16日
- 柴田達夫, “細胞の走化性シグナル伝達系の自己組織化と応答”, シンポジウム「細胞生物における数理モデルの役割」第21回日本数理生物学会 年会, 明治大学, 東京, 2011年9月13日-15日
- Tatsuo Shibata, “Spontaneous symmetry breaking and signal processing in chemotactic response of eukaryotic cells”, International conference ‘Engineering of Chemical Complexity’, Berlin, Germany, 2011年7月4日-8日
- Tatsuo Shibata, “Inherent Polarity and Gradient Sensing of the Self-organized Signaling System in Chemotactic Cells” RIKEN CDB-QBiC Joint Symposium ‘Towards Innovation in Developmental Cell Biology: The impact of Emerging Technologies’, RIKEN CDB, Kobe, Japan, 2011年6月30日-7月1日
- 柴田達夫, “走化性シグナル伝達系の自己組織化と応答に実験と理論からアプローチする”, 日本発生生物学会 秋期シンポジウム 2011, 基礎生物学研究所共催, 自然科学研究機構, 岡崎カンファレンスセンター, 愛知, 2011年12月19-21日
- Tatsuo Shibata, “Self-organization in signaling system of chemotactic cells”, Modeling and Analysis in the Life Sciences: A ReaDiLab Conference in Tokyo Japan, 東京大学 GCOE 国際会議主催, 2011年11月28-30日
- 柴田達夫, “リズムと生物学”, RIMS 研究集会 第8回生物数学の理論とその応用, 京都大

学数理解析研究所, 京都, 2011年11月15日-18日

- 柴田達夫, “走化性細胞における細胞の自発的な極性形成と勾配認識”, CBI/JSBi2011 合同大会「計算科学の拓く新しい生命像」情報計算法学生物学会(CBI 学会) 共催, 日本バイオインフォマティクス学会共催, 神戸国際会議場, 神戸, 2011年11月8-10日
- Tatsuo Shibata, “Self-Organized Signaling System in Chemotactic Cells”, CDB Symposium 2012 “Quantitative Developmental Biology”, RIKEN Center for Developmental Biology, Kobe, 2012年3月26-28日
- Tatsuo Shibata, “Self-organization in signaling system of chemotactic cells”, East Asia Joint Seminars on Statistical Physics 2012, Center for Soft Condensed Matter Physics& Interdisciplinary Research, Soochow University, Soochow, China, 2012年3月18-20日
- 砂田利一, “Topological Crystallography”, クレスト・セミナー, 東北大学情報科学研究科, 2011年5月20日
- 砂田利一, “Topological Crystallography”, 幾何学セミナー, 九州大学, 2011年6月24日
- 砂田利一, “Topological Crystallography”, Mathematics Everywhere, 明治大学, 2011年7月21日
- 砂田利一, “Topological Crystallography”, WPIセミナー, 東北大学, 2011年7月29日
- 砂田利一, “Overview of my work”, 華南師範大学, 広州, 中国, 2011年8月9,10日
- 砂田利一, “Topological Crystallography”, Summer Challenge at KEK, 2011年8月24日
- 砂田利一, “Topological Crystallography”, セタセミナー, 東北大学情報科学研究科, 2011年8月26日
- 砂田利一, “Quantum Walk”, セタセミナー, 東北大学情報科学研究科, 2011年8月26日
- 砂田利一, “Fine asymptotics for 1-dimensional quantum walks”, THE GEOMETRY OF HYPERBOLIC SURFACES AND OTHER MANIFOLDS, Centro Stefano Franscini Ascona, Switzerland, 2011年11月1日,
- 砂田利一, “Topological Crystallography”, Mathematical Crystallography Workshop, Manila, Philippines, 2011年11月5日
- 砂田利一, “Topological crystallography”, WPI-AIMR, Tohoku University, 2012年2月18日
- 砂田利一, “Discrete Abel-Jacobi maps and Crystallography”, 2012 Spring Southeastern Section Meeting, University of South Florida, USA, 2012年3月10日
- Hisao Tamaki, “A polynomial time algorithm for bounded directed pathwidth”, Proc. 37th International Workshop on Graph-Theoretic Concepts in Computer Science, Tepla, Czech Republic, 2011年6月
- 奥田孝志, 小川知之, “反応拡散系における3重臨界点とそのまわりでのダイナミクス”, 日本数学会秋季総合分科会応用数学分科会一般講演, 信州大学, 2011年9月30日
- Toshiyuki Ogawa, “Triply degenerate interactions in 3-component reaction-diffusion system”, One Forum, Two Cities: Aspect of Nonlinear PDEs, National Taiwan University, 2011年8月29日
- 小川知之, “3変数反応拡散系の多重臨界点とそのまわりのダイナミクス”, 東北大学応用数学セミナー, 2011年6月23日
- 奥田孝志, 小川知之, “反応拡散系に現れる3重臨界点とその周りの振動解”, 2011年度応用数学合同研究集会, 龍谷大学理工学部, 2011年12月17日
- Hirokazu Ninomiya, “Non-planar traveling waves and entire solutions of Allen-Cahn equations”, University of Minnesota, Minneapolis, USA, 2011年4月20日



- Hirokazu Ninomiya, “Non-planar traveling waves and entire solutions of Allen-Cahn equations”, Asymptotic Dynamics Driven by Solitons and Traveling Fronts in Nonlinear PDE, Universidad de Chile, Santiago, 2011 年 7 月 12 日
- Hirokazu Ninomiya, “Reaction-diffusion approximation and related topics”, 第 36 回偏微分方程式論札幌シンポジウム, 北海道大学, 2011 年 8 月 22-24 日
- Hirokazu Ninomiya, “Reaction-diffusion approximation and related topics”, One Forum, Two Cities: Aspect of Nonlinear PDE, 2011, National Taiwan University, Taipei, 2011 年 8 月 31 日
- Hirokazu Ninomiya, “The traveling spots and rotating waves of the wave front interaction model”, Front propagation, biological problems and related topics: viscosity solution methods for asymptotic analysis, Sapporo, Hokkaido University, 2011 年 9 月 8 日
- Hirokazu Ninomiya, “The traveling spots and rotating waves of the wave front interaction model”, Reaction-Diffusion Systems in Mathematics and the Life Sciences: A conference in honor of Jacques Demongeot and Masayasu Mimura, University of Montpellier II, France, 2011 年 9 月 20-22 日
- 草野完也, “Simulation Study on the Onset Mechanism of Solar Eruption”, CAWSES II One-Day Workshop: CME/ICME and Solar Wind 2, 京都大学, 2011 年 4 月 13 日
- 草野完也, “雲核生成に対する気候感度と太陽の気候影響について”, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 幕張, 2011 年 5 月 25 日
- 草野完也, “Simulation Study on the Trigger Process of Solar Flare”, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 幕張, 2011 年 5 月 27 日
- 草野完也, “Physics of Solar Flare Onset”, MHD and Kinetic Processes in Laboratory, Space and Astrophysical Plasmas, 北京大学, 2011 年 6 月 6 日
- 草野完也, “The Role of Magnetic Flux Emergence for the Onset of Solar Flares”, AOGS2011, 台北, 2011 年 8 月 8 日
- 草野完也, “What Triggers the Onset of Solar Eruption? ”, ISPS2011, 國立成功大學, 台南, 2011 年 8 月 15 日
- 草野完也, “フレアトリガとしての上昇磁束の役割について II ”, 日本天文学会 2011 年秋季年会, 鹿児島大学, 2011 年 9 月 22 日
- 草野完也, “STP の諸問題としての太陽活動変動とその予測”, 公開討論会 太陽地球系科学の未解決問題—その現状と展望—, 名古屋大学, 2011 年 9 月 26 日
- Kanya Kusano, “The Onset of Solar Eruptions”, Korea-Japan Space Weather Workshop 2011 Current Status and Prospect of Space Weather Modeling and Observation, KASI, Korea, 2011 年 9 月 29 日
- Kanya Kusano, “Comparative Study of Solar Flare Onset Based on MHD Simulations and Hinode Observations”, Hinode 5, Boston, U.S.A., 2011 年 10 月 10 日
- Kanya Kusano, “Trigger Mechanism of Solar Eruptions”, US-Japan JIFT Workshop Hierarchical Self-Organization of Turbulence and flows in Plasmas, Oceans and Atmospheres, 京都大学, 2011 年 10 月 24 日
- 草野完也, “シミュレーションで探る太陽フレアと プラズモイド放出のトリガー機構”, Plasma 2011, 石川県立音楽堂, 金沢市, 2011 年 11 月 11 日
- Kanya Kusano, “A Systematic Simulation Study on the Onset of Solar Eruptions Triggered by Magnetic Flux Emergence”, AGU Fall Meeting 2011, San Francisco, U.S.A. 2011 年 12 月 9 日

- 草野完也, “太陽フレアの形態と発生条件”, 太陽研究会「太陽の多角的観測と宇宙天気研究の新展開 2012」, 名古屋大学 2012年1月11~13日
- 草野完也, “太陽地球環境科学における乱流研究の役割と課題”, 平成23年度数学・数理科学と諸数学・産業との連携研究ワークショップ『乱流と流体方程式の解の特異性』, 名古屋大学, 2012年1月27日
- 草野完也, “宇宙・地球表層・地球内部の相関モデリング”, 平成23年度地球シミュレータ利用報告会, JAMSTEC横浜研究所, 2012年2月7日
- 草野完也, “エネルギーの蓄積とトリガー 太陽フレアの発生条件を探る試みについて”, 『「ひので」5年間の成果と今後の展望』研究会, I S A S, 2012年2月27~28日
- Kanya Kusano, “Predicting the Onset of Solar Flares”, GEMSIS International Workshop, 名古屋大学, 2012年3月14日
- 草野完也, “突発現象としての太陽フレア: トーラスプラズマとの共通性について”, 日本天文学会2012年春季年会, 龍谷大学 2012年3月22日
- 杉原厚吉, “不可能立体と不可能モーション-錯覚から見えてくる「見る」ことの偉大さと危うさー”, 国立情報学研究所平成23年度オープンハウス 基調講演, 2011年6月2日
- Kokichi Sugihara, “Principle of Independence for Robust Geometric Computation”, Shandong University (中国山東省), 2011年6月27日
- Kokichi Sugihara, “Why are Voronoi diagrams so fruitful in application?”, Eighth International Symposium on Voronoi Diagrams in Science and Engineering, Qingdao, China, pp. 14, 2011年6月28-30日
- 杉原厚吉, “計算錯覚学への招待”, CEDEC 2011 (Computer Entertainment Developers Conference 2011), 横浜みなとみらい, 2011年9月8日
- 杉原厚吉, “画像理解と不可能モーション錯視”, 日本心理学会大会ワークショップ, 日本大学, 2011年9月15日
- 杉原厚吉, “反重力すべり台の設計法”, 日本オペレーションズリサーチ学会ワークショップ「娯楽のOR」, 甲南大学, 日本オペレーションズリサーチ学会講演アブストラクト集, 2-K-11, pp. 380-381, 2011年9月16日
- 杉原厚吉, “人は目に届く光をなぜ読み誤るのか—視覚から学ぶ脳の働き”, オプティカルソリューションカンファレンス2011 ~生体と光~ (サイバネットシステム主催), 2011年10月14日
- 杉原厚吉, “『数学って何の役に立つの』にどう答えるか”, 千葉県私学高等学校教員研修会数学科研修会 (渋谷学園幕張高校), 2011年10月26日
- 杉原厚吉, “ベスト錯覚コンテスト世界チャンピオンまでの道”, 錯視&S3D研究会 (デジタルハリウッド大学, 秋葉原ダイビル), 2011年10月29日
- 杉原厚吉, “数理で解き明かすだまし絵の秘密”, 明治大学創立130周年記念自然科学系シンポジウム「自然を探り, 社会を変える数理科学: 現象数理学の挑戦」, 明治大学駿河台キャンパス, 2011年12月17日
- Kokichi Sugihara, “Computer-Aided Generation of Triply-Crossing Tile Patterns”, 28th European Workshop on Computational Geometry, Assisi, Italy, 2012年3月19-21日
- 杉原厚吉, “視覚メディアと錯視—人の目はどこまで正しくみられるか”, 映像情報メディア学会メディア工学シンポジウム, 関東学院大学関内キャンパス, 2012年2月17日
- 杉原厚吉, “画像知覚と立体錯視—人はなぜ奥行きを読み取ることができるのか—”, 社会

性知能発生学研究会, 2012年12月26日

- 杉原厚吉, “画像知覚のひずみと誇大広告の危険性”, 第4回錯覚ワークショップ, 明治大学駿河台キャンパス, 東京, 2012年3月14日
- Daishin Ueyama, “Waves in lattice reaction-diffusion systems”, Reaction-Diffusion Systems in Mathematics and the Life Sciences: A conference in honor of Jacques Demongeot and Masayasu Mimura, Département de Mathématiques, University of Montpellier II, France, 2011年9月20日
- 増井翼, 友枝明保, 岩本真裕子, 上山大信, “避難時に生じるアーチ状定常解解析”, 第17回交通流のシミュレーションシンポジウム, 名古屋大学, 2011年12月9日
- Daishin Ueyama, “Pattern formation in the precipitation systems - modeling and simulations”, International Workshop on Complex Systems in Chemistry, Physics and Biology 2011, Eötvös Loránd University (ELTE), Budapest, Hungary, 2011年11月2-3日
- 池田幸太, “『移動が個体群動態に及ぼすある影響』での論文紹介～Stabilizing Dispersal Delays in Predator-Prey Metapopulation Models～”, 生物現象に対するモデリングの数理解析, 京都大学数理解析研究所111号室, 2011年9月26日
- Kota Ikeda, “Stability analysis for a planar traveling wave solution in an excitable system”, RIMS 研究集会「非線形現象に現れる界面運動の数理解析・数値解析」, Kyoto University, Kyoto, 2011年7月12日
- Kota Ikeda, “Dynamics and Hopf Bifurcation in the Gierer-Meinhardt System”, Modeling and Analysis in the Life Sciences: A ReaDiLab Conference in Tokyo, 東京大学数理科学研究科大講義室, Tokyo, 2011年11月28日.
- Kota Ikeda, “Dynamics and Hopf Bifurcation in the Gierer-Meinhardt System”, SIAM Conference on Analysis of Partial Differential Equations, San Diego Marriott Mission Valley, San Diego, California USA, 2011年11月16日
- 池田幸太, “興奮性を示す反応拡散方程式系におけるプラナー進行波解の安定性”, 日本数学会2012年春季大会 応用数学分科会 東京理科大学神楽坂キャンパス, 2012年3月29日
- 池田幸太, “Dynamics and Hopf Bifurcation in the Gierer-Meinhardt System”, KSU 非線形解析セミナー, 京都産業大学12号館12301教室, 京都, 2012年2月21日
- 末松 J. 信彦, “ドデシル硫酸ナトリウム濃度に依存した樟脳船の自律運動”, 第63回コロイドおよび界面化学討論会, 京都大学, 2011年9月9日
- 末松 J. 信彦, “化学反応波の集団運動”, 第5回 自己組織化討論会, Kawasaki Grand Hotel, 2011年8月8日
- 末松 J. 信彦, “さまざまな光刺激に応答する生物対流”, 第32回 非線形科学セミナー, 千葉大学 櫻井・北畑研究室, 2012年3月8日
- 末松 J. 信彦, “一次元水路における樟脳船の相互作用”, 日本化学会第92春季年会, 2012年3月25日
- 木下修一, 立石恵大, 上山大信, “心臓突然死を引き起こすスパイラルリエントリー発生機構の解明 一数理モデルからの接近一”, 第21回日本数理生物学会大会, 明治大学, 2011年9月14日
- Ryoko Okajima, “The Cause of Phenotypic Discontinuity: Shell Shapes of Terrestrial Gastropods”, MAS seminar, Meiji University, 2011年6月9日
- 岡嶋亮子, 千葉聡, “幾何学的制約と適応: 陸生巻貝の殻形態”, 日本数理生物学会, O-8, 明治大学, 2011年9月13日

- 岡嶋亮子, “不連続分布の生成機構: 陸生巻貝の殻形態”, 第 40 回北海道生命数理セミナー, 北海道, 2012 年 1 月 10 日
- 岡嶋亮子, “移動分散と適応 (絶滅) の歴史: 哺乳類における事例”, ネアンデルタールとサピエンス交代劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究 B01 班第三回班会議, 明治大学, 2012 年 2 月 17 日
- 今隆助, “Permanence induced by life-cycle resonances: The periodical cicada problem”, MAS セミナー, 明治大学, 2011 年 5 月 12 日
- 今隆助, “生活環共鳴によって起こる捕食者・被食者モデルのパーマネンス: 周期ゼミの問題”, 今野・梶原研セミナー, 横浜国立大学, 2011 年 5 月 17 日
- 今隆助, “Dynamics of age-structured predator-prey models”, MEE セミナー, 明治大学, 2011 年 6 月 16 日
- 今隆助, “生活環共鳴によって起こる捕食者・被食者モデルのパーマネンス: 周期ゼミの問題”, 第 21 回数理解生物学会大会, 明治大学駿河台キャンパス, 2011 年 9 月 14 日
- 今隆助, “生活環共鳴によって起こる捕食者・被食者モデルのパーマネンス: 周期ゼミの問題”, 日本数学会 2011 年度秋季総合分科会, 信州大学 (松本キャンパス), 2011 年 10 月 1 日
- 今隆助, “Age-structured predator-prey models: The problem of periodical cicadas”, 明治大学先端数理科学研究科開設記念シンポジウム, 明治大学, 2011 年 10 月 4 日
- 今隆助, “年齢構造を持つ捕食者・被食者モデル: 周期ゼミの問題”, 京都駅前セミナー, キャンパスプラザ京都 6 階第 7 講習室, 2011 年 10 月 21 日
- 今隆助, “生活環共鳴によって起こる個体群振動”, RIMS 研究集会「生物数学の理論とその応用」, 京都大学数理解析研究所, 2011 年 11 月 18 日
- 今隆助, “生活環共鳴による個体群振動の数理的研究”, 第 43 回種生物学シンポジウム, 富士 Calm (財団法人人材開発センター富士研修所), 2011 年 12 月 9 日~11 日
- Siew Hai-Yen and Jianchang Zhuang, “Modulated renewal models for inter-event times of earthquakes”, The eighth annual meeting of Asia Oceania Geosciences Society, Taipei, 2011 年 8 月 10 日
- Siew Hai-Yen and Jianchang Zhuang, “Modulated renewal models for inter-event times of earthquakes”, The 10th Meiji GCOE Wakate Symposium, Tokyo, 2011 年 9 月 1 日
- Siew Hai-Yen and Jianchang Zhuang, “Modulated renewal models for inter-event times of earthquakes”, The 2011 Joint Meeting of Statistical Associations, Kyushu, 2011 年 9 月 6 日
- Terumasa Tokunaga, Kazuyuki Nakamura, Tomoyuki Higuchi, Teiji Uozumi, Akira Morioka, Kiyohumi Yumoto and MAGDAS/CPMN Group, “Timing relation between positive bay onsets, Pi 2 onsets, auroral initial brightening and auroral breakups”, 地球電磁気・地球惑星圏学会第 130 回講演会, 神戸大学, 2011 年 11 月 3 日
- 中益朗子, 末松 J. 信彦, 木村成介, “ニューベキアの発生過程における表現型可塑性のモデリング”, 『第 71 回 形の科学シンポジウム』, 千葉, 2011 年 6 月 19 日
- Akiko Nakamasu, “From pigment pattern to morphogenesis - The Turing pattern in developmental biology”, 『MAS seminar』, Meiji Univ., 2011 年 6 月 23 日
- 堀内史朗, “地域間交流が新文化を創発するメカニズムの解明”, ネアンデルタールとサピエンス交代劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証研究 2011 年度春季大会, 東京学術センター, 2011 年 4 月 24 日

- 堀内史朗, “ユートピアの誕生と崩壊：チキンゲームによる分析”, 第 52 回数理社会学会大会, 信州大学, 2011 年 9 月 6-7 日
- Shiro Horiuchi, “Diversity of Local Cultures Maintained by Agents’ Movements between Local Societies”, The 7th Conference of the European Social Simulation Association, Montpellier, France, 2011 年 9 月
- 堀内史朗, “地域間交流が文化の蓄積を促進する”, ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証研究 2011 年度秋季大会, 愛知県岡崎市・自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンター, 2011 年 12 月 10-11 日
- 堀内史朗, “世の初めから開かれている場所:エージェントベースモデルによるマツリの分析”, 第 53 回数理社会学会大会, 鹿児島大学, 2012 年 3 月 14 日
- 若狭徹, “マクロスケールにおける接触抑制モデルとその解析”, 現象数理セミナー, 九州大学, 2011 年 8 月 11 日
- 若狭徹, “接触抑制モデルの進行波解析”, 夏の偏微分方程式セミナー2011, 龍谷大学セミナーハウス, 2011 年 8 月
- 若狭徹, “On segregated traveling wave solutions of contact-inhibition model”, D. Hilhorst 研究室セミナー, Universit’e de Paris Sud, France, 2011 年 5 月
- 西村信一郎, “A Three-dimensional Model for amoeboid Locomotion” 第 49 回日本生物物理学会年会, 兵庫県立大学, 2011 年 9 月 16 日
- 西村信一郎, “3 次元アメーバ様細胞モデル”, 理論と実験研究会 2011, 広島大学, 2011 年 10 月 7-8 日
- 西村信一郎, “3 次元アメーバ様細胞モデル”, 生体運動研究合同班会議, 筑波大学, 2012 年 1 月 7 日
- 吉川満, “実用化のための理論の開発”, 大学院研究科合同説明会, 明治大学, 2011 年 5 月 21 日
- 吉川満, “私設取引システムの市場特性について”, MIMS カフェセミナー, 明治大学, 2012 年 3 月 7 日
- Mitsuru Kikkawa, “Limit Order Market Modeling with Double Auction”, Young Researchers Workshop on Finance 2012, The University of Tokyo, 2012 年 3 月 9 日
- 日高徹司, “時系列の周期変動の同定と変化構造解析 理論, 数値実験, 実証分析: 太陽黒点, 地震”, 「複雑系現象の時系列解析 1 2」 - 数理・工学・地球物理現象 -, 明治大学, 2011 年 6 月 4 日
- 日高徹司, “時系列変化構造解析に基づく実証分析-脳波から感情変化を抽出する試み-”, 「複雑系現象の時系列解析 1 2」 - 数理・工学・地球物理現象 -, 明治大学, 2011 年 8 月 5 日
- 日高徹司, “時系列変化構造解析に基づく実証分析-脳波から感情変化を抽出する試み-(2)”, 「複雑系現象の時系列解析 1 2」 - 数理・工学・地球物理現象 -, 2011 年 9 月 30 日
- 陳彦宇, “Spiral waves of a wave front interaction model in a plane”, The 3rd Taiwan-Japan Joint Workshop for Young Scholars in Applied Mathematics, National Taiwan University, 2012 年 2 月 28 日
- Amy Poh Ai Ling, Masao Mukaidono and Kokichi Sugihara, “A Review: The Natural Grid Concept and the Strategy of Asia’s Energy-Balance Pioneer”, Smart Grid Electronics Forum, Session 5.2, San Jose, California, America, pp.1-25, 2011 年 10 月 25 日

- Amy Poh Ai Ling, Masao Mukaidono and Kokichi Sugihara, “Information Security of the IT Based Electronic Power System-Eliminate Smart Grid Security Vulnerability”, ASEAN-Japan Academic Forum (AJAF) 2011, Tokyo, Japan, 2011 年 12 月 11 日
- Amy Poh Ai Ling, Kokichi Sugihara and Masao Mukaidono, “A Trade-off between ‘Current’ and ‘Smart Grid’ Energy Supply System”, DC Building Power Asia, Session 4.6, Taipei, Taiwan, pp. 142-173, 2011 年 12 月 12-13 日
- Amy Poh Ai Ling, Kokichi Sugihara and Masao Mukaidono, “Security Philosophy Important for a Sustainable Smart Grid System”, 2012 26th International Conference on Advanced Information Networking and Applications Workshops, IEEE, Fukuoka, Japan, pp.29-34, DOI 10.1109/WAINA.2012.45, 2012 年 3 月 26-29 日
- Amy Poh Ai Ling, Kokichi Sugihara and Masao Mukaidono, “Smart Grid System Functional Requirement”, AMS 開設記念ポスターセッション MIMS 現象数理学, 16, Tokyo, Japan, 2011 年 10 月 4 日
- 岩本真裕子, “空間離散的な BZ 反応における興奮波伝搬”, N.L.P.M.サマーセミナー, 紅葉屋 (愛知県知多半島), 2011 年 8 月 7 日
- 岩本真裕子, “腹足類の這行運動”, MEE セミナー夏合宿, 明治大学清里セミナーハウス, 2011 年 7 月 26 日
- Mayuko Iwamoto, Ryo Kobayashi and Daishin Ueyama, “Crawling Locomotion: The Advantage of Mucus”, The 3rd Taiwan-Japan Joint Workshop for Young Scholars in Applied Mathematics, 国立台湾大学, 2012 年 2 月 27 日
- 大家義登, 中村和幸, “津波遡上域の高精度推定の為の底面抵抗の評価に関して”, 日本物理学会第 67 回年次大会, 関西学院大学, 2012 年 3 月 25 日

#### イ. ポスター発表

- Hiroki Kakuta and Hiroyuki Mori, “Probabilistic Transmission Network Expansion Planning in Consideration of Wind Farms”, 先端数理科学研究科開設記念シンポジウムポスターセッション, 明治大学, 2011 年 10 月 4 日
- Hajime Fujita and Hiroyuki Mori, “Application of Hybrid-Coding EPSO to Electric Power Systems”, 先端数理科学研究科開設記念シンポジウムポスターセッション, 明治大学, 2011 年 10 月 4 日
- Masato Takahashi and Hiroyuki Mori, “Generation Output Prediction of PV Systems by RBFN with Global Structure”, 先端数理科学研究科開設記念シンポジウムポスターセッション, 明治大学, 2011 年 10 月 4 日
- Hirohisa Yokoyama and Hiroyuki Mori, “A Data-Mining-Based Method for Estimating Distribution Network Loss Minimization Conditions”, 先端数理科学研究科開設記念シンポジウムポスターセッション, 明治大学, 2011 年 10 月 4 日
- Hiraku Nishimori, “A Theoretical study of Morphodynamics of Dunes Using Dune Skeleton Model”, Minerva Gentner Symposium on Aeolian Processes, Ben-Gurion University of the Negev, Eilat Campus, Israel, 2011 年 10 月 25 日
- 杉原厚吉, “立体錯視の数理モデリングとその応用”, CREST 「数学」領域シンポジウム, P-12-1, 東京秋葉原アキバプラザホール, 2011 年 9 月 7 日
- Nobuhiko J. Suematsu, “Collective behavior of camphor boats on a annular water channel”, Collective Dynamics and Pattern Formation in Active Matter Systems, Dresden, Germany, 2011

年9月12日

- 末松 J. 信彦, “光強度に依存したミドリムシの生物対流”, 第 21 回 非線形反応と協同現象研究会, 広島大学, 2011 年 12 月 17 日
- 木下修一, 山田弘明, “Some properties of Attractors in Biological Network”, 先端数理科学研究科開設記念シンポジウム, 明治大学, 2011 年 10 月 4 日
- Ryoko Okajima and Satoshi Chiba, “Adaptation and constraint: shell angle of terrestrial gastropods”, MIMS 現象数学ポスターセッション, 明治大学, 2011 年 10 月 4 日
- Ryusuke Kon, “Permanence induced by life-cycle resonances: the periodical cicada problem”, The European Conference on Mathematical and Theoretical Biology (ECMTB2011), Krakow, Poland, 2011 年 7 月 1 日
- 今隆助, “Dynamics of age-structured predator-prey models: The problem of periodical cicadas”, RIMS 研究集会「力学系とトポロジーのフロンティア」, 京都大学理学研究科 3 号館, 110 講演室, 2011 年 11 月 23 日
- 徳永旭将, 湯元清文, 魚住禎司, 吉川顕正, 中村和幸, 池田大輔, MAGDAS/CPMN Group, “Singular Value Transformation を用いた地上磁場からのサブストームオンセットの同定”, 地球惑星連合大会 2011 年, 千葉県幕張メッセ, 2011 年 5 月 26 日
- Terumasa Tokunaga, Kazuyuki Nakamura, Tomoyuki Higuchi, Teiji Uozumi, Akimasa Yoshikawa, Akira Morioka, Kiyohumi Yumoto and MAGDAS/CPMN Group, “Timing relation between positive bay onsets, Pi 2 onsets, auroral initial brightening and auroral breakups”, Workshop on Physical Processes in Non-Uniform Finite Magnetospheric Systems -50 Years of Tamao’s Resonant Mode Coupling Theory, 九州大学, 2011 年 9 月 12 日-15 日
- 若狭徹, “Modeling and analysis for cell population model with contact-inhibition”, MIMS 現象数学ポスターセッション(先端数理科学研究科開設記念シンポジウム), 明治大学, 2011 年 10 月 4 日
- 西村信一郎, “A theoretical model for amoeboid locomotion”, ゴードン会議 (2011 Gordon Research Conference on Gradient Sensing & Directed Cell Migration), Les Diablerets, Switzerland, 2011 年 6 月 5-10 日
- Mitsuru Kikkawa, “Empirical Evidence for Evolutionary Game Theory : to connect with observable phenomena”, MIMS 現象数学ポスターセッション (先端数理科学研究科開設記念シンポジウム), 明治大学, 2011 年 10 月 4 日
- C.-C. Chen, L.-C. Hung, 三村昌泰, 藤間真, 上山大信, “Semi-Exact Equilibrium Solutions of Competition-Diffusion Systems and Competition-Mediated Coexistence” MIMS 現象数学ポスターセッション, 明治大学, 2011 年 10 月 4 日
- Tatsuya Iizaka, Hiroyuki Mori, “A Wind Power Forecasting Method”, 先端数理科学研究科開設記念シンポジウム, 明治大学, 2011 年 10 月 4 日
- 陳彦宇, “Spiral wave pattern of wave front interaction model”, 先端数理科学研究科設立記念シンポジウム : MIMS 現象数学ポスターセッション, 2011 年 10 月 4 日
- Amy Poh Ai Ling and Masao Mukaidono, “Selection of Model in Developing Information Security Criteria on Smart Grid Security System”, Smart Grid Security and Communications, The Ninth International Symposium on Parallel and Distributed Processing with Applications (ISPA), No. 108, Busan, Korea, pp.91-98, 2011 年 5 月 26-28 日
- Amy Poh Ai Ling, Kokichi Sugihara and Masao Mukaidono, “Smart Grid System Functional

Requirement”, AMS 開設記念ポスターセッション MIMS 現象数理学, 明治大学, 2011 年 10 月 4 日

- Mayuko Iwamoto, Ryo Kobayashi and Daishin Ueyama, “A Mathematical Research for the Effectiveness of Mucus in Crawling Locomotion of Gastropod”, 明治大学大学院先端数理科学研究科開設シンポジウム, 明治大学, 2011 年 10 月 4 日
- 岩本真裕子, 小林亮, 上山大信, “腹足類の這行運動における粘液効果の数理的研究”, 日本数理生物学会年会, P13, 明治大学, 2011 年 9 月 14 日